



創立者 サラ・C・スミス

北星学園の創
立者、サラ・C・
スミスは故郷
ニューヨークの
教会から派遣さ
れ、東京の女学
校で教職につい
た。



体調を崩し、療養の場とした北海道
で1886(明治19)年、尋常師範学
校の外国人教師に採用。「北海道の女
子教育のために、キリスト教に根ざし
た学校づくりをしてほしい」という大
島正健ら札幌農学校の1・2期生の奨
めもあり、札幌に女学校開校を決意。
その熱意は、北海道庁長官の岩村通俊
に認められ、「札幌長老派伝道協会寄
宿女学校」を開校した。

1889(明治22)年、女学校の認
可を得て「スミス女学校」となり、
1894(明治27)年、「北星女学校」
と改名。スミスは、1931(昭和6)
年に帰米するまでの50年、自らの全
てを捧げ教育に取り組んだ。

PICK UP 世界中から学生が集う多文化共生型キャンパス



札幌市営地下鉄「大谷地駅」徒歩5分に立地。豊かな緑に囲まれた開放感ある
自然環境と都市機能が調和したキャンパス

■交換留学制度

全学生を対象にした交換留学制度を
設け、毎年約20名がアメリカ、カナダ、
ヨーロッパ、アジアの協定校へ留学。
授業料免除や留学費用補助、単位認定
制度などを整え、4年間での卒業も可能。
提携校からは毎年約50名の留学生を受
け入れており、累計交換留学生数は約
2,000名。短期海外研修にも年間約100
名が参加している。

■ダブルディグリー制度

協定校で1年間学び、北星学園大学と
留学先大学の2つの学位取得を目指す制
度。海外大学院への進学や国際的な
キャリア形成を志す学生に人気があり、
現在はイギリスの University of Central
Lancashire との協定により、「Bachelor
of Arts (文学士)」の学位取得が可能。

■国際ラウンジ

留学生と在学生在が交流する「国際ラ
ウンジ」では、異文化理解や語学力向
上を目的とした多彩なプログラムを実
施。留学生による文化紹介や留学体験
報告会などを通じて交流を深めること
ができ、日常的に国際感覚を養える環
境となっている。

札幌で育む、豊かな教養と国際的視野。 「世にあって星のように輝く」 北海道屈指の文系総合大学



SUMMARY

北星学園の起源は1887年、アメリカの女性宣教師サラ・C・スミスに
よって設立された「スミス女学校」にまで遡ります。以来、その教育姿勢は、
新渡戸稲造ら多くの共鳴者を得、1962年に北星学園大学が開学。創立時か
ら一貫して「キリスト教による人格教育」を継承し、「人間性」「社会性」「国
際性」を備えた数多くの卒業生が国内外で活躍しています。

キャンパスには留学生が世界中から集まり、「国際ラウンジ」で多彩な異文
化交流イベントを開催。2026年4月に国際学部グローバル・イノベーショ
ン学科が新設。27年4月には情報科学部情報科学科を新設し、5学部9学科、
3研究科を包摂する文系総合大学として、さらなる発展を続けます。

01 伝統を誇る「高き教養と 人格の確立」を目指した教育

星学園大学の歴史は1887(明治
20)年、米国の女性宣教師サラ・
C・スミスが創設した「スミス女学
校」に遡ります。北海道における女子教育の先
駆けとして、キリスト教精神に基づく人格教育
を実践した姿勢は教育界に新風をもたらしまし
た。新渡戸稲造ら札幌農学校(現北海道大学)
の教員もその理念に共鳴し、出講などを通じて
教育活動を支援。後に「北星女学校」と改称し、
1962年には男女共学の4年制大学として北
星学園大学が開学しました。現在は文学部、経
済学部、社会福祉学部、国際学部、大学院に約
3500人が学ぶ総合大学へと発展しています。

02 「ことば」を重視し、洞察力・ 論証力・発信力を磨く『文学部』

962年の大学開学以来の伝統を持
つ「英文学科」では、文化的知識に
裏打ちされた高度な英語運用能力と、
国際社会で求められる見識・異文化コミュニ
ケーション能力を備えた人材を育成します。ネ
イティブ教員による徹底した英語教育に加え、
アクティブ・ラーニングを取り入れた少人数教
育を各学年で展開。さらに、教員養成のための
特別プログラムも整備しています。

一方、「心理・応用コミュニケーション学科」
では、人の心とコミュニケーションの仕組みを
学び、地域社会や国際社会で生かせる実践力を
養います。心理学を科学的に探究する科目と、
コミュニケーションの応用力を育む科目を体系
的に配置。加えて、海外留学や現場体験などを
柔軟に組み合わせられるフルフレックス制度に
より、主体的な学びを支援しています。

03 見識豊かな産業人、社会人を 目指す『経済学部』の学び

「経済学部」では、激変する現代社会
の状況に対応しながら、職業生活
や社会生活の各領域において活躍
することができる高い見識を備えたジェネラリ
ストを育成します。専門科目の体系は、講義・
演習・実習のみならず、「ディベート」への参
加などを通じてアクティブ・ラーニングを促進
し、国内外で幅広く学ぶ機会も提供しています。
また「経営情報科学科」では、経営、情報、
マーケティング、会計の専門的な知識や技能を
駆使し、企業経営のさまざまな場面で自らのア
イデアを具現化すること、豊かな社会の創造
に寄与できる人材を育成します。

講義形式だけでなく、アクティブ・ラーニ
ングや産学連携プロジェクトを取り入れた少人数
教育科目を各学年で展開しています。

さらに「経済法学科」では、社会・経済活動
において不可欠とされる、経済や法律にかかわ
る幅広く実践的な能力と職業上の倫理観を形成
し、経済や法律の知識をベースに、実社会で活
躍できる人材を育成します。基礎力を養成する
少人数の「塾」と学科基礎科目を通じ学修の土
台を固めることから始め、それぞれの知的関心
と将来の志望を踏まえて、より専門性の高い学
科専門科目を学修します。

04 専門的・学際的な視点から、人間や 社会を探究する『社会福祉学部』

会福祉士の合格者数が24年連続で北
海道第1位を誇るなど、社会福祉学
の教育・研究における伝統と実績は
「北星の福祉」を支える基盤となっています。
「社会福祉学科」では「ソーシャルワーク領

域」「地域デザイン・政策領域」「教育臨床領
域」の3領域のもと、理論・政策・実践の連関
を踏まえ、個人・家族への支援(ミクロ)から
地域づくり(メゾ)、そして社会およびグロー
バルな諸課題へのアプローチ(マクロ)につい
て探求し、「人と社会のwell-beingの向上・実
現」に資する人材を育成します。

また、「心理学科」は個人の心理から集団心
理まで、心に関する理論と実践を幅広く学ぶカ
リキュラムを展開。「心の科学コース」では科
学的な基礎心理学を学ぶための科目を、「心理
臨床コース」では対人援助実践のための心理学
的知識や技能を学ぶ科目をそれぞれ配置。心理
の専門家や特別支援学校はもちろん、一般企業
や公的機関においても高い調査・分析能力を備
えた人材を育成します。

06 開学以来、「国際性」を掲げる 多文化共生型のキャンパス

多くの留学生が学ぶ北星学園大学では、
北海道私大の国際交流の先駆者とし
て、海外協定校であるアジア、北米、
ヨーロッパの11の国・地域の19大学への交換留
学制度や、短期の海外研修など多彩な留学プロ
グラムを展開。これまでの派遣・受入学生数は
2000人以上にのびます。留学生とともに
学ぶ「国際交流関係科目」を設置しているほか、
グローバル教育推進の拠点である「国際ラウン
ジ」では、学生の異文化理解を促進する多言語、
多文化プログラムを多彩に提供しています。

07 1年次から段階的に取り組む 『キャリアデザインプログラム』

キャリアを教育の一環に考える北星学園
大学では、水曜日の3講目を一切の授
業を入れない空きコマとし、全学生が
無理なくキャリア支援講座を受講できることが
大きな特徴です。就職支援は、1年次から履修
可能な「キャリア教育科目」に加え、3年次の
「キャリアデザインプログラム」では、自己分析
から企業訪問まで幅広い講座が段階的に組まれ
ています。卒業生の就職率は、26年3月卒6・
8%と優れた実績に結びついています。

2026年度に「国際学部グローバ
ル・イノベーション学科」を新設。
国際的な視野を持つて、社会に貢献
するイノベーションを生み出せる人材を育てま
す。「経済・経営」「人文・国際」分野を融合さ
せた学際的な学びを通して、国際社会で行動す
るための多角的な視野と実践力を養うカリキュ
ラムが特長です。また、英語をツールとして活
用しながら、多様な国際経験を積み、課題解決
型のPBL(プロジェクト型学習)を通して、
あらゆる社会に変革をもたらす提案力を身につ
けていきます。PBLはすでに既設学科のカリ
キュラムやゼミ活動にも多く取り入れられてい
ますが、同学部でも新たに国内外の連携先を開
拓し、積極的に導入していきます。

さらに、27年4月には情報科学部情報科学科